



第3号では、7/4(土)の「学校応援団の日」に行った3年生の道徳授業について紹介したいと思います。

★ 3年生の道徳…

【資料】『五井先生と太郎』（副読本：「かけがえのないきみだから」より）



【概要】

太郎の担任の五井先生は、なぜか太郎だけを「太郎」と、あえて呼び捨てにしていた。おもしろくない思いでいた太郎は、ある日、入院中の五井先生に呼び出される。そこで、五井先生は呼び捨てにしていた本当の理由を語る。太郎は小学校の卒業文集に、障害をもつ両親のことでいじめられた日、耳が聞こえず、言葉が話せない父親に向かって「親なら名前を呼んでくれよ」と泣きながら訴えたときの父の言葉を書いていた。同級生の父であった五井先生はそれを読んでいて、偶然にも高校生になった太郎の担任になった五井先生は両親に代わり、名前を呼んでやろうと心に決め、呼び続けていたのだ。

理由を知り、五井先生の優しさを感じた太郎はもっと「太郎」と呼んでくれと願ったが、先生は教壇に戻ることなく息を引き取った。

【わらい】

五井先生が名前で呼び続けた理由を考えることで、人間の内には、限りない温かい心のあることを深く感じ取りながら、誰に対しても公正・公平に接し、差別や偏見をなくす努力の大切さについて自覚を深める。

【4-(3)正義 公正・公平 差別や偏見のない社会の実現】

《授業の感想》

- 今日の授業を通じて、人が傷つくような言葉を簡単に口にするのはいけないと思いました。また、「知らない」ということは、間違いや誤解を招いてしまうとわかりました。だから、これからは、人が傷つく言動は口にしないことと勝手に決めつけることはしないようにしたいです。
- 五井先生が「太郎」と呼び捨てで呼んでいたのには意味があることを知り、五井先生っていい先生だなと思った。私が太郎の立場だとしたら、名前を呼ばれてとても嬉しいと感じると思うし、太郎みたいに泣いてしまうと思う。この授業を通して、人の温かさや優しさを知りました。温かい心をもった人が1人でもいることで、何人もの人を救うことができるだと思いました。だから、私も、1人でも人の心の救う人になりたいと思いました。
- まずは、両親ともに障害を持っている人がいることを初めて知って、本当につらいだろうし、そのことに関しての悪口や陰口とかが多いだろうなと思った。また、五井先生は本当に心の底から優しい人なんだろうなと思った。常に、太郎のことを考えながら名前を呼んでいたと思う。

そして、本当のことを知るとわかることってというのは多いと思う。今後は、どの人にも平等に接していきたい。

《差別や偏見のない社会の実現のために・・・》

- 私は、差別や偏見までいかないかもしれないけど、された経験がある。そのこともあるし、「五井先生と太郎」を読んで、私は常に人の心に寄り添える人になりたいと思った。
- 僕は、相手の気持ちを考えずに平気で会話をしている、大変なことを言ってしまったときもあったと思います。これからは、相手の心が傷つかない言葉を話したいです。
- 相手の気持ちを考え、相手の立場になって行動したり、言葉を発したりしたい。
- 耐えられる、相手を傷つけない、そんな強い心をもって、「この言葉を言ったら、相手はどう思うだろうか。辛いだろうな。苦しんだろうな。」というのを想像して生きていきたい。・・・
- 常に相手の心を慮りながら生きていかななくてはならないと思った。

【道徳だより第2号&授業参観（5/1）への御意見・御感想】

- 先日、授業参観をさせて戴き、子ども達の授業の姿勢に驚きました。「さすが、中学生」という感じで、昨年との違いに感心しました。授業の内容も道徳ということで、『長縄跳び』を通じて、自己の役割、クラスの団結を表しているもので、23日に行われる体育祭がすごく楽しみになる内容でした。まだ1ヶ月程の中学校生活で、初めての体育祭ですが、勝負だけでなく、1人1人がこの体育祭で何か1つでも身につけ、成長してくれればと思っています。そして、天気になることを願っています。
- 年代によって道徳教育が違うのでしょうか。中学生に対してどうすれば良いか分かりませんが、副読本のような内容なのでしょうね。覚えたことを実行することは簡単ではないですが、体育祭のような行事を使って体で覚えるようにしていくことは良いと思います。
- 一人一人がしっかりと発言していて、期待以上の参観日でした。
- みんなの心を一つにしないと成功しない長縄跳び。相手を思いやる心をもたないと気持ちは一つになりません。道徳で学んだことを体育祭に活かして頑張ってもらいたいです。
- 初めての授業参観、とても良い時間を過ごすことができました。道徳だよりを通して、親子で確認する時間をなるべく取るよう、努力すると共に、私たちも努力していきたいと思っています。

* 貴重な御意見、御感想をありがとうございました。今後とも宜しくお願いします。



切り取り線

※「道徳だより」や授業参観の御感想、道徳教育に関する御意見などをお聞かせください。

【提出は担任にお願いします。】

● 7月の授業予定…

☆ 1年生

資料名	ねらい
カスリーン台風を 忘れない	自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。
裏庭の出来事	自ら考え、正しいと判断したことについて誠実に行動し、その結果に責任をもとうとする態度を育む。

☆ 2年生

資料名	ねらい
本当に望ましい 社会って	相手の個性や立場を尊重しながら、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、広い心を持ち、謙虚に学び合おうとする心を育てる。
リズム	異性の立場や考えを思いやることの大切さを自覚し、互いに高めあおうとする思いを深める。

☆ 3年生

資料名	ねらい
あついぞ！熊谷	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努めさせる。
友情切符	友情の尊さを理解して、心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし合い、高め合おうとする態度を育てる。

● 9月の授業予定…

☆ 1年生

資料名	ねらい
とげつき家族	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって、充実した家庭生活を築こうとする態度を育てる。
「ありがとう」に 出会いたくて	周囲の人々の支えや思いやりに素直に感謝する心情を養う。
おぼれかけた兄妹	一人一人の生命がかけがえのないものであることを深く自覚し、自他の生命を大切にしようとする心情を養う。
絆を結ぶ、 虹のかけはし	温かい人間愛を持ち、その人の立場に立って温かく接していこうとする心情を養う。

☆2年生

資料名	ねらい
ごみ箱の中の町	一人一人が社会の一員として公德心や社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。
星置きの滝	友達をもつ意義について考え、互いに信頼して励まし合い、高め合っていこうとする心情を育てる。
みずぶさんへの 手紙	人間は、他の多くの命に支えられて生存していることの自覚を深め、生きとし生けるものに対する感謝と尊重の心を育てる。
父へのメッセージ	人間の生命の有限性やかけがえのなさを理解し、夢や希望をもって前向きに育てようとする態度を育てる。

☆3年生

資料名	ねらい
自信をもって、 自分自身のために	自立する精神を重んじ、自主的に考え、行動し、その結果に責任をもちながら自分らしく生きる態度を育てる。
中川の夫婦木	人間だれもがもつ心の弱さや醜さを乗り越え、誇りをもって強く気高く生きていこうとする態度を育てる。
宇宙の「なぎさ」 にて	自然の中で生かされる自己の存在に気づき、自然や人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。
「チームQ」の絆	人それぞれの考え方や立場のあることを理解し、開かれた心で謙虚に他に学んでいこうとする態度を育てる。